

日本情報考古学会会報 No. 30

2012(平成24)年12月

NEWSLETTER OF THE JAPAN SOCIETY FOR ARCHAEOLOGICAL INFORMATION NO.30 Dec. 2012

目次

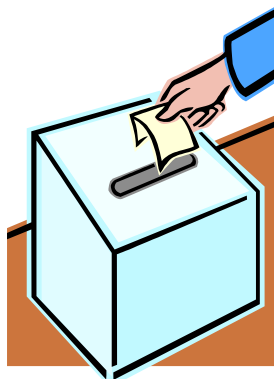
| | |
|-------------------------------------|---|
| 2013～2015 年度学会役員選挙について | 1 |
| 2012 年度日本情報考古学会シンポジウム のご案内 | 1 |
| 2012 年度日本情報考古学会 第30回大会報告 | 2 |
| 2012 年度学会賞受賞者について | 2 |
| 2012 年度第1回理事会議事録 | 3 |
| 学会誌編集委員会からのお知らせ | 3 |
| 2013 年度会費納入のお願い | 4 |

2013～2015 年度学会役員選挙について

今期の学会役員(会長、理事、監事)は2013年3月31日で任期満了となりますので、次期(2013～2015年度)役員の実選を実施致します。

被選挙人の名簿を同封いたしましたので、同封の投票用紙にご記入の上、返信用封筒に入れて、1月31日まで事務局までお送り願います。

投票締切日：2013年1月31日(木)必着



2012 年度日本情報考古学会シンポジウム

2012 年度のシンポジウムを以下の要領で開催致します。詳細につきましては、1月にご案内させていただきます。

日時：2013年3月16日(土)13:00～17:00

テーマ：未定(1月にご案内いたします)

会場：大阪電気通信大学

駅前キャンパス 6階 601号室

〒572-0837 大阪府寝屋川市早子町 12-16

【JR→京阪を利用の場合】

「京都」→(JR 奈良線)→「東福寺」

→(京阪)→「寝屋川市」

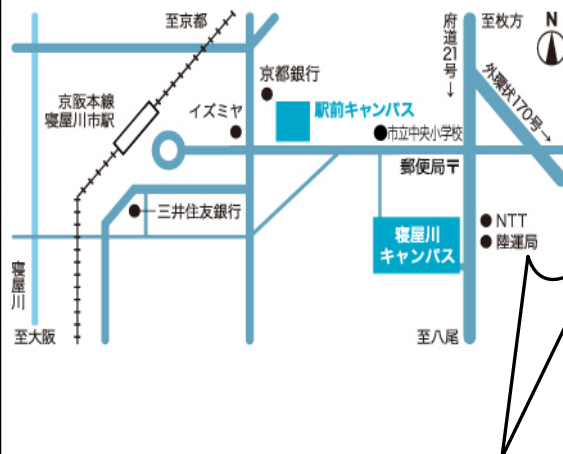
【近鉄→京阪を利用の場合】

「京都」→(近鉄)→「丹波橋」

→(京阪)→「寝屋川市」

寝屋川市駅から徒歩3分

※途中、京阪「丹波橋一枚方市」間は特急があります



2012 年度日本情報考古学会第 30 回大会報告

日本情報考古学会第 30 回大会を、9 月 29 日(土)に同志社大学東京オフィスで開催いたしました。大会プログラムは以下の通りです。なお大会参加者は 31 名、大会終了後の懇親会の出席者は 21 名でした。

—大会プログラム—

12:55-13:00 開会挨拶 大会実行委員長 村上征勝

13:00-13:20 研究発表 1

考古遺物における三次元記録と観察—学術的価値の強化・パブリック考古学・博物館活動—

平川ひろみ・川宿田好見・太郎良真妃・中村有希
(鹿児島国際大学)

13:20-13:40 研究発表 2

三次元データによる考古学的観察環境の再現

横山真・千葉史(株式会社ラング)

13:40-14:00 研究発表 3

土器製作具のすり減りの三次元的検討—民族考古学的調査と実験から—

中園聡、平川ひろみ、太郎良真妃
(鹿児島国際大学)

14:10-14:30 研究発表 4

CG 空間での縄文土器文様の再現

高井健吾(愛知工業大学大学院)

水野慎士(愛知工業大学)

高木隆司(神戸芸術工科大学)

植田真(株式会社パスコ)

14:30-14:50 研究発表 5

多変量解析による土器様式の空間的検討—須玖式土器における遠賀川以西系と遠賀川以東系の問題をめぐって—

太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)

14:50-15:10 研究発表 6

理化学的胎土分析における分析データの量と質

三辻利一・中園聡(鹿児島国際大学)

15:10-15:30 研究発表 7

レーザー計測による立体地図を利用した初期前方

後円墳の築造規格の研究

西村淳(函館大学)

15:40-15:50 学会賞授賞式

15:50-16:40 特別講演

考古資料の質的データと量的データ

植木武(共立女子短期大学)

16:50-17:10 研究発表 8

前方後円墳における噴丘形の考察 V

—陪塚からの出土鏡に見る鋸歯文と墳丘系の有機的関連性について—

(※病気入院のため未発表)

竹内啓二

17:10-17:30 研究発表 9

漢鏡 7 期の不思議(第二報)

石井好(元都立産業技術高等専門学校)

17:30-17:50 研究発表 10

天神七代・地神五代の神々の故郷は伊都国(第三報)

石井好(元都立産業技術高等専門学校)

17:50-18:00 総会

18:00-18:05 閉会挨拶

会長 植木武



2012 年度学会賞受賞者について

2012 年度の日本情報考古学会賞は次の方に決まり、9 月 29 日開催の第 29 回大会(同志社大学)にお

いて授賞式が行われました。

<日本情報学会堅田賞(優秀賞)>

森本吉春(4D センサー株式会社)

「高速三次元コピー機の提案と考古学への応用—第1報 三次元形状の高速・高精度計測—」日本情報学会講演論文集(第29回大会)、Vol.9 (2012)

梶谷明大(4D センサー株式会社)

「高速三次元コピー機の提案と考古学への応用—第1報 三次元形状の高速・高精度計測—」、日本情報学会講演論文集(第29回大会)、Vol.9 (2012)

平良理揮(鹿児島国際大学大学院)

「多変量解析を用いた土器様式変化のプロセス—南西諸島縄文後期前半の仲泊式土器と面縄東洞式土器を素材として—」、日本情報学会講演論文集(第29回大会)、Vol.9 (2012)



なお、日本情報考古学会賞、日本情報学会論文賞については該当者はおりませんでした。

2012 年度第 1 回理事会議事録

2012 年度第 1 回日本情報考古学会理事会を以下の要領で行いました。

日時：2012 年 3 月 29 日(土)10:00～12:45

場所：同志社大学東京オフィス

出席者：(順不同)森本、廣田、宝珍、植木、植田、植村、佐藤、三瓶、村上

議題(1) 2011 年度決算報告案が了承された

(2) 2012 年度学会賞の授賞者として以下の会員を選考した

森本吉春(4D センサー株式会社)

梶谷明大(4D センサー株式会社)

平良理揮(鹿児島国際大学大学院)

(3) 『情報考古学シリーズ』の刊行(継続)について紙媒体で行うかどうかも含め検討した

(4) 分科会の創設について検討した

(5) 学会誌掲載論文の有料化について

(6) 学会大会時のコメントに関する基本姿勢について検討した

(7) 大会の他学会等との共催について

(8) その他

- ・会員名簿の取り扱いについて
- ・学会誌の IT 化について
- ・学会の PR の方法について

学会誌編集委員会からのお知らせ

今回の論文誌では初の試みとして特集を組みました。テーマは今まさに問題となっております「発掘調査報告書のデジタル化問題」ですが、いかがでしょうか。少しでも会員の皆様の参考になれば幸いです。編集委員会では、今後も会員の皆様にとって有益な特集を組んで参りたいと考えています。

また、これまでもお伝えしてきておりますように、会員の皆様への迅速な研究成果等の提供、研究成果の幅広い発信、ならびに、会員の皆様の利便性の向上を目指しまして、学会誌『情報考古学』等の電子化に取り組んでおりますが、学会として電子化の方向で進んでゆくことになりました。『情報考古学』や『大会論文集』にご投稿いただいた著者の方々やこれからご投稿いただく方々からは、論文の著作権

を学会にお譲りいただくこととなります。学会の発展のために、ぜひご理解とご協力を賜りたいと考えています。

また、これまでと同様に、『情報考古学』への会員の皆様からの活発なご投稿もよろしくお願いたします。

ご意見・ご要望等がございましたら、編集委員会もしくは学会事務局まで電子メールでお願いいたします。

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所街道町
京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科
情報工学部門

宝珍輝尚(学会誌編集委員会委員長)

E-mail: hochin@kit.ac.jp

Tel: 075-724-7634 Fax: 075-724-7400

2013 年度会費納入のお願い

2013 年度の学会費(会員 5,000 円、学生会員 3,000 円)の納入をお願いする時期になりました。安定した学会運営を行うために会員の皆様のご協力をお願いいたします。また、会員数の増加も緊急の課題です。会員数倍増に向けご協力をお願いいたします。

なお、会費の納入は下記の銀行(または郵便)口座に振込願います。

銀行振込

銀行名：南都銀行 京田辺支店

普通口座：031986

口座名：日本情報考古学会事務局

郵便振込

口座番号：01040-2-30981

名称：日本情報考古学会事務局

日本情報考古学会会報 No.30

2012 年 12 月 22 日

発行 日本情報考古学会事務局

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3

同志社大学文化情報学部 情報考古学会事務局

Tel/Fax 0774-65-7681

E-mail: murakami.lab1@gmail.com